



# PP245-247 PP476-478

## グランキュロット 仕様書



### 用意するもの

#### ●布帛生地

適度な張りがある中肉程度のボトム向き素材が適しています。綿、麻、シャツコールなど。

110cm巾 100 (0.7m) ・ 110 (0.8m) ・ 120 (0.9m) ・ 130 (1.0m) ・ 140 (1.1m) ・ 150 (1.2m)

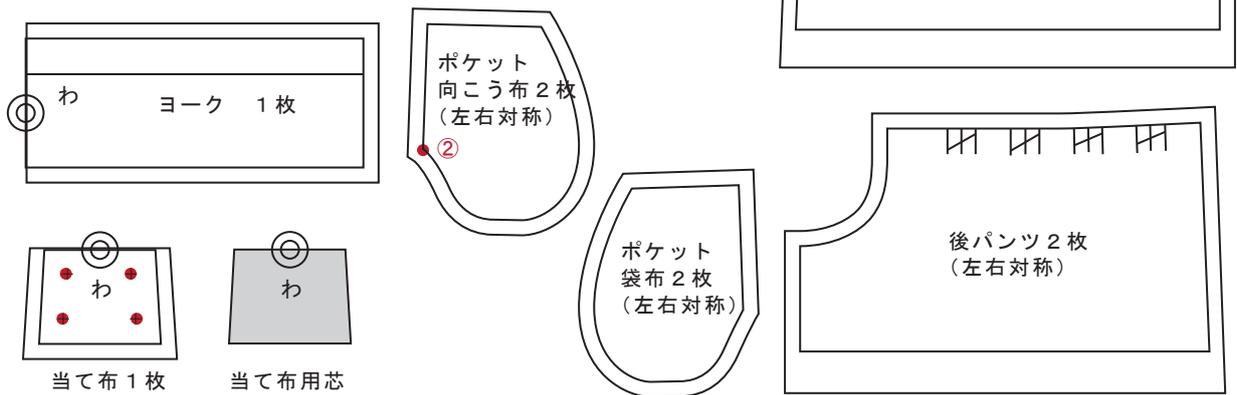
#### ●接着芯 少々

#### ●15mm巾のびどめテープ 少々

#### ●20mm巾平ゴム 100 (41.5cm) ・ 110 (43cm) ・ 120 (44cm) ・ 130 (45cm) ・ 140 (46.5cm) ・ 150 (48cm)

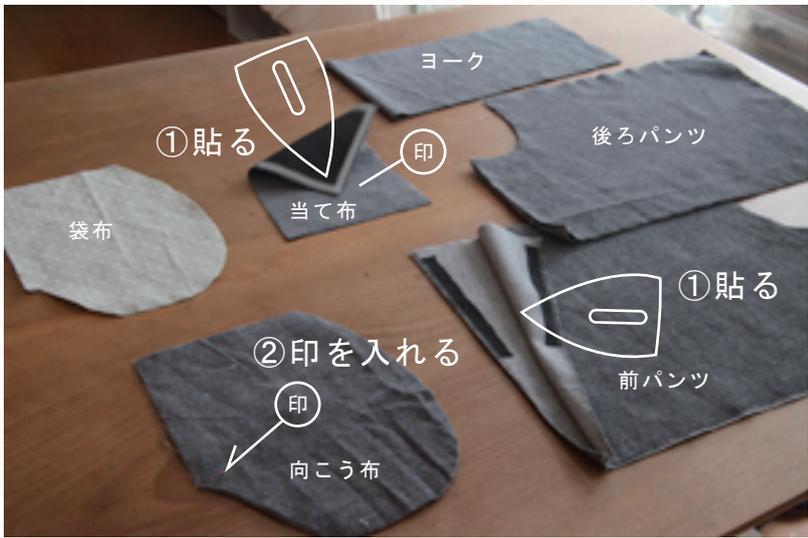
### 準備

- 裁断パーツ7・合計11枚(芯地含む)
- 前パンツ脇と当て布ウラ面に、接着芯を貼っておく
- 以下の①~②に、印をしておく。



①ボタン位置4か所

芯貼り



前パンツの脇ポケット口（ウラ面）、上下1cmずつ長くなるように芯を貼る。  
 当て布（ウラ面）にも縫い代をはずして芯を貼る。向こう布のポケット位置（下）に印。

脇ポケット



前後パンツの脇と股下に、生地を表からロック始末します。  
 ヨークとの切り替え部分はタックをたたみ、仮止めしておきます。



前後パンツを中表に合わせ、脇を1.5cmで縫います。ポケット口は縫い残します。



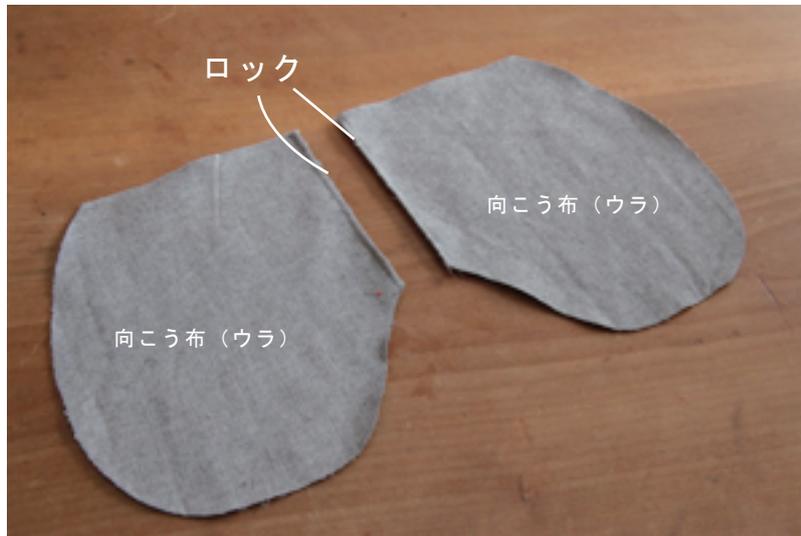
脇の縫い代は割り、前パンツの脇縫い代の上に袋布を中表になるように乗せ、端から 1 cm で、上端～ポケット口の、できあがり位置まで縫います。



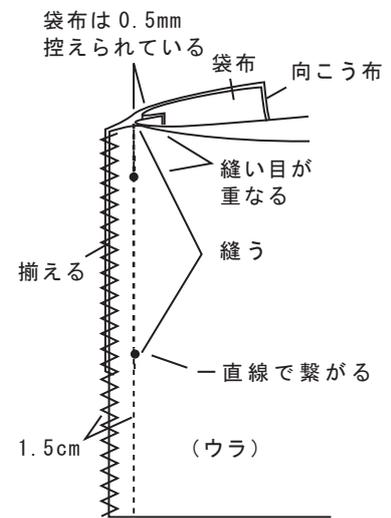
袋布を折り返し、上からできあがり位置までコバステッチを入れます。



表に返し、前キュロット側のポケット口にステッチを入れます。



向こう布のポケット口側に、生地の裏側からロック始末します。



後ろパンツ脇縫い代と、向こう布を中表に合わせて、ポケット口を縫います。先ほど脇縫いした縫い目と一直線で繋がるようにできあがり線上を縫います。



【注意】  
前パンツ側ポケット口を一緒に縫いこまないように

袋布と向こう布を重ね、まわりを1cmで縫います。縫い代は、向こう布側を上にしてロック始末します。



表に戻し、ポケット口上下に止めミシンを入れます。  
 ポケットの上端を表地と重ねて仮止めしておきます。

股下・裾



裾を 1.5cm 完全三つ折りで、アイロンで折っておきます。



折り目をいったん開き、股下を 1.5cm で縫い合わせ、縫い代は割ります。  
 折り目通りに折りなおし、裾始末します。

股ぐり

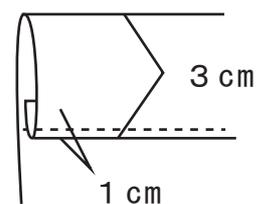
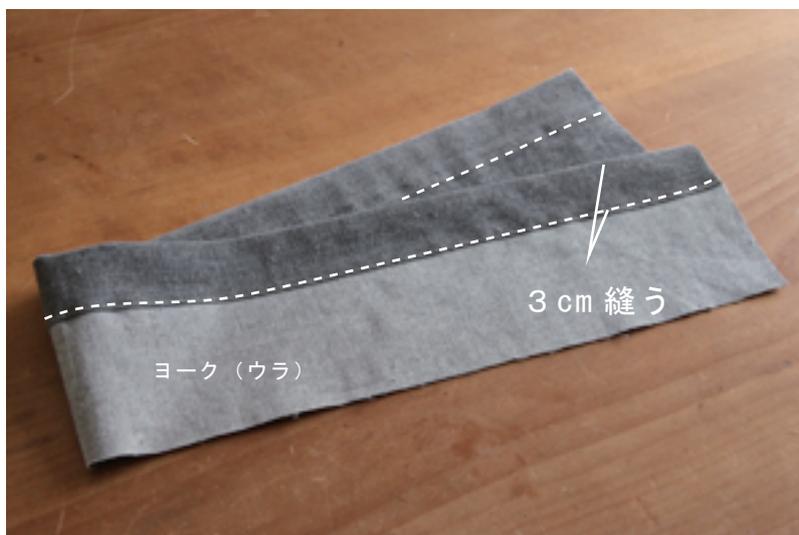


パンツの股ぐりを、生地を表からロック始末します。(左右とも)



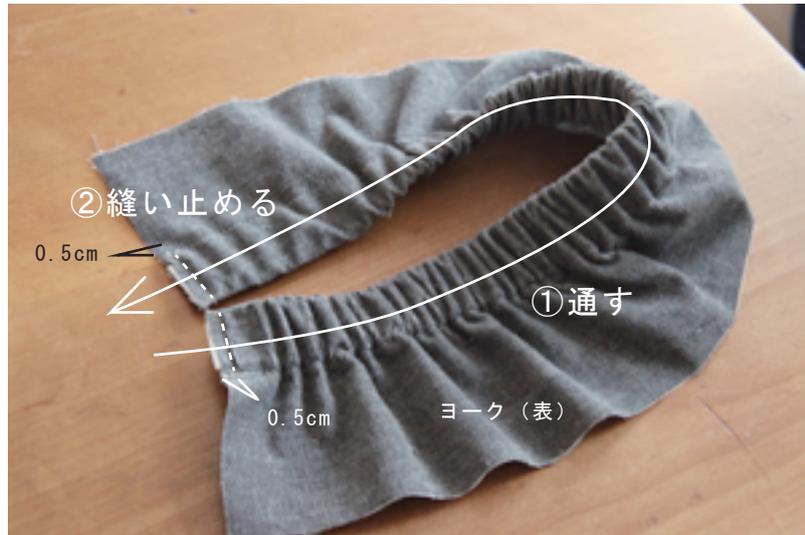
左右のパンツの股ぐりを巾表に合わせて、1 cm で縫い合わせます。縫い代は前中心後中心あたりは割りますが、股あたりは割らずに縫い代を立たせておきます。

ヨーク



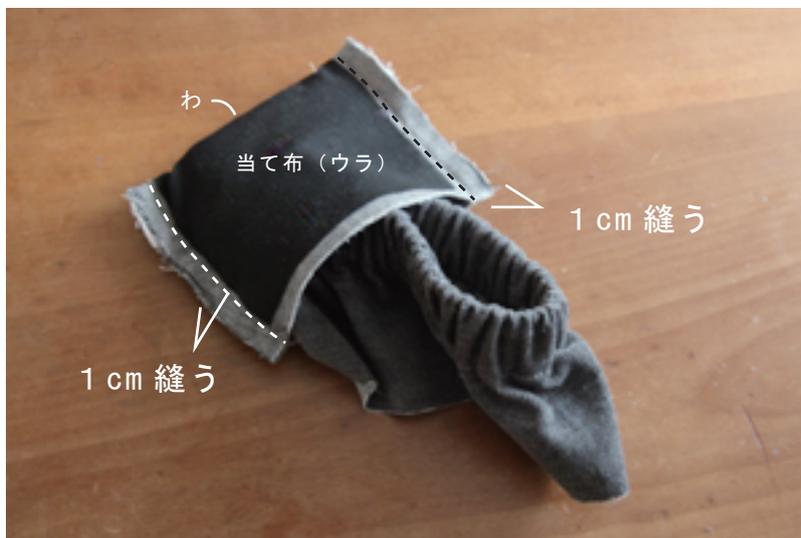
ヨークの上端を図のように折り、ステッチします。

ウエスト



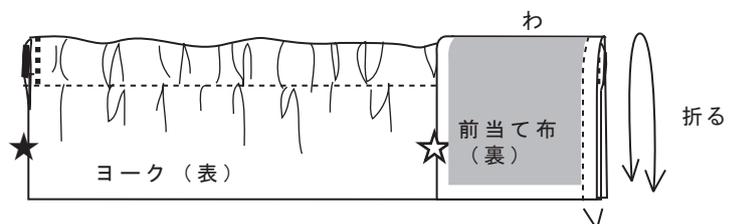
平ゴムを「ゴムカット寸法」でカットし、ヨークに通し、両側の口のところで縫いとめます。

ウエスト



当て布を「わ」で中表に折り、ヨークを挟みこんで縫います。

<図解>



前当て布でヨークを挟み込むようにして中表に合わせ、左右それぞれ縫い合わせます。次にもう一方(★と☆)も同様に中縫いします。





当て布の両側をコバステッチ始末します。

ヨークとパンツ  
縫い合わせ



ヨークとパンツを中表に合わせて1 cmで縫い合わせます。縫い代はパンツ側を上にしてロック始末し、ヨーク側に倒します。

仕上げ



表に返し、ヨーク側にコバステッチを一周入れます。当て布に飾りボタンを4つ、つけて完成です。